

## ベンガルタイガーの子2頭

## 登録票なしで店頭に

京 都

ワシントン条約の国内法で譲渡が制限されているトラの子2頭を環境庁発行の登録票を持たないまま店頭で売買したとして京都府警と環境庁は十九日までに、京都市中京区河原町通三条下ル、爬虫類ショップ「ガビエル」の経営者から事情を聴くとともに入手ルートなどの調査に乗り出した。

調べによると、問題のトラはインド原産のベンガルタイガーで、生後二カ月のオスとメス。ワシントン条約の国内法(絶滅の恐れのある希少野生動植物の譲渡の規制等に関する法律)では、トラなど同法律で定められている動植物を店頭で販売するときは環境庁が発

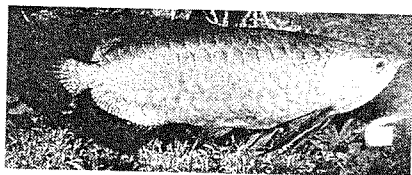
行する「希少野生動植物登録票」を備え付けなければならぬが、同店にはなかった。経営者が「ペット雑誌で知り合った動物商から手に入れた」と話していることから、この動物商も同法違反の疑いがあるとみて入手ルートの割り出しを急いでいる。

## 希少動物なぜ？

## アジアアロワナ

## 密売の業者逮捕

神奈川県警生活経済課と大磯署は十九日、マニアに人気の高い高級観賞魚「アジアアロワナ」を不正に売買していたなどとして、絶滅の恐れのある希少野生動植物の譲渡の規制等に関する法律違反容疑で、水戸市柵町二ノ九ノ七、「水戸熱帯魚センター」経営、松原滋容疑者(四〇)を逮捕、静岡、大阪、兵庫、神奈川各府県の業者七人を書類送検



マニアに人気の高いアジアアロワナ

ら約一年間、六回にわたり環境庁が登録していない「アジアアロワナ」約七十匹を約三百七十万円で業者らに販売した疑い。同容疑者は東日本地域で最大手の熱帯魚店を経営、偽造された環境庁の登録票を売買していた疑いもあり、同課はアジアアロワナの入手先とともに追及している。

アジアアロワナは東南アジアに生息する淡水性熱帯魚。インドネシアが正規に輸出、環境庁が登録した魚のみ売買できる。

する。

調べによると、松原容疑者は平成元年十二月ごろか